

ひまわりビジョン 2028～第 2 期南区将来ビジョン～（案） に対する市民意見の内容及び南区の考え方

「ひまわりビジョン 2028～第 2 期南区将来ビジョン～（案）」に対して貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。みなさまからお寄せいただいたご意見と、それに対する南区の考え方を公表いたします。なお、ご意見の内容については、原文の一部を要約、分割するなどして掲載させていただきましたので、ご了承ください。

令和 6 年 3 月

＜意見募集結果の概要＞

1 募集期間

令和 5 年 12 月 6 日(水)から令和 6 年 1 月 5 日(金)まで

2 提出状況

提出者数：4 名

提出方法：電子メール（2 人）、FAX（2 人）

3 意見の内訳 合計 27 件

計画全般・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 件

第 4 章 魅力あるまち南区の実現に向けた取り組み・・・・・・・・・・ 23 件

- ・ 災害に強いまち（1 件）
- ・ 安心・安全で快適なまち（3 件）
- ・ だれもがいきいきと暮らせるまち（3 件）
- ・ 子どもがすこやかに育つまち（9 件）
- ・ こころうるおい個性輝くまち（4 件）
- ・ 地域交流・区政運営の取り組み（3 件）

市民意見の内容及び南区の考え方

計画全般について（4 件）

意見	南区の考え方
●「ひまわりビジョン 2023」との連続性について、「ひまわりビジョン 2023」で掲げた内容が、どこまで達成できて、何が達成できなくて、どんな課題が新しく見えてきたのか。そういった総括が今回のビジョンには全く触れられておらず、「PD」と「CA」つながっていない、と思った。 「C」は、毎年の区政運営方針の中で行われていると思うし、今回のビジョン策定過程の中で、きちんと「C」の 5 年間の総括が行われているのかもしれないが、「ひまわりビジョン 2028」の中でもそのことがきちんと踏まえられて、触れられていると良いと感じた。	「ひまわりビジョン 2023」については、令和 2～5 年度までの 4 年間の計画であり、現在も進行中の計画であることから、進捗状況を把握しながら「ひまわりビジョン 2028」の策定を進めています。「ひまわりビジョン 2023」の総括については、計画期間終了後に取りまとめ、公表することを予定しています。
●「目標値（令和 10 年度）」がどのように設定されたのか読んでいてよくわからないと思った。中には「100%」という実現可能性に疑義を感じる目標値がある一方で、中には現実的な上積みを狙っていると思われるものもあり、バラつきを感じた。 ●魅力あるまち南区の実現には、目標値 70%が必要な数値であり、その項目については段階的にあらゆる面から推し進めなければならない。	目標設定については、市の類似する成果指標や過去の実績推移などを参考に設定しました。
●読みにくかった文章などを別紙のとおりまとめたので、参考としてください。（別紙省略）	ご意見を参考に、文章を修正します。

第 4 章 魅力あるまち南区の実現に向けた取り組み

災害に強いまち（1 件）

意見	南区の考え方
●南区は津波・高潮に関して被害が生じる可能性が高いが、施策の内容が区民に対する啓発といった小手先の内容が目立つ。もちろんそれらも重要ではあるが、避難施設の設備状況やインフラの確保、そもそもの「減災」対策の内容も盛り込むべきである。そのため、施策の展開の「都	想定される災害の規模は様々ですが、過去に発生した程度の災害を防ぐための都市基盤の整備は進められてきています。一方、あらゆる可能性を考慮した最大規模の災害についても、ハード面の整備を進めるとともに、減災のためにソフトを中心とした市民への啓発等も重要

市基盤の整備」をもっと手厚くするべき。防災の施策も重要であるが、石川県・能登震災のようにいつ地震が起こってもおかしくないので、少しでも被害を減らせられるよう、減災対策も重ねて行わなければならない。また、このような状況下で、成果指標の「災害に強いまちづくりができていると思う区民の割合」も 63%としているのは低い。せめて 75%以上を目指してほしい。	と考えています。 引き続き、都市基盤の整備、地域防災力や災害対応力の向上など、ハード・ソフトの両面から防災・減災対策を進めることにより、災害に強いまちの実現を目指していきます。 また、成果指標「災害に強いまちづくりができていると思う区民の割合」の目標値 63%については、名古屋市総合計画の成果指標「災害に強いまちづくりができていると思う市民の割合」の目標値に準拠して設定しています。
--	---

安心・安全で快適なまち（3 件）

意見	南区の考え方
●南区内を歩いていて、歩道を自転車で走行する場面をよく見かけ、大変危険だと感じる。特に、ベビーカー連れや小さい子どもが歩いているにもかかわらず、高齢者が自転車ですぐそばを走り抜けていった場面を何度か見かけた。自転車は、原則車道を走ること、歩行者とすれ違う場合は自転車を降りることをしっかりと周知するなど、自転車利用者への注意喚起に力をいれるようにしてほしい。	ご指摘の内容については、警察や地域の皆さまと連携して自転車を安全かつ適正に利用していただくよう啓発を行っていきます。
●鉄道や線路付近の交通安全をしっかりとやってほしい。そもそも踏切をなくすことにも働きかけを行ってほしい。特に、本笠寺駅近くの踏切では、子どもや高齢者が自転車とすれすれで横断しており、見ていて大変恐怖を感じる。（桜駅や呼続駅なども同様）名古屋鉄道にも働きかけ、区民の安全を確保してほしい。	現在、交通指導員や警察が、幼稚園・保育園・学校・地域において、子どもや高齢者を対象とした交通安全教室を実施しており、自動車や自転車に気をつけていただくよう啓発を行っていますが、今後はご指摘の視点も踏まえ、取り組んでいきます。 なお、所管局において、道路と鉄道との立体交差事業について、名古屋鉄道はじめ関係機関と調整をしています。
●犬を散歩させている飼い主のマナーがひどいので、張り紙などの区役所からの注意喚起をもっと力をいれてやってほしい。区役所だけで難しければ、区民にも注意喚起の張り紙をできるように配布するなどしてほしい。また、アンケートで半数近くの区民が迷惑を感じているにも関	犬の飼主にフンの持ち帰りを啓発するなどマナー向上のための掲示物を保健センターで配布していますので、ご相談ください。 また、目標設定については、過去の実績推移なども参考に設定していますが、人とペットが快適に暮らせるまちを目指して、飼主への指導

わらず、成果指標の目標値が 35%では足りない。もっと下の数値、10%以下にしてほしい。	や各種機会を捉えてマナー向上のための啓発等に引き続き取り組んでいきます。
---	---

だれもがいきいきと暮らせるまち（3 件）

意見	南区の考え方
●認知症予防に向けて、体の健康だけでなく、脳の健康についても施策に記載すべき。また、個人での健康活動でなく、コミュニティでの健康活動を通じて脳の健康を働きかけてほしい。	“健康づくり”における「健康」とは、運動機能だけでなく脳の健康を含めた“心身の健康”を意味するものとして記載しています。 区民の皆さまが生涯にわたり健康づくりに取り組めるよう、地域サロン等において心身の健康を維持・増進できる講習や指導、教室等を企画開催していく予定です。
●「地域のつながり・ネットワークの推進」について、ネットワークの推進には、それを支える支援者が重要になってくるため、その支援者を増やす施策も大きな課題と言える。この点も将来ビジョンに取り入れてほしい。	南区は地域のサロン数が他区に比して多くあり、そのサロンの運営をはじめとする地域活動には、幅広い年代の方々にボランティアとして携わっていただいています。 また、高齢者の孤立防止や認知症の啓発を通して、支援の受け手支え手に関わらず、だれもが暮らしやすいまちを目指しています。 今回のご意見を参考に、地域の様々な団体等の活動への支援を通して高齢者の社会参加を推進していきます。
●「地域で高齢者を見守る」とあるが、むしろ高齢者に地域に貢献する機会を与えてほしい。地域活動や子育て支援に高齢者が支援する立場に関わようにすべきであり、高齢者支援を前提とするのではなく、子育て支援・子ども支援を前提として高齢者の社会参加を促すべき。	地域活動の支援の主な取り組みとして、サロン運営者に対する研修会や、認知症サポーターの方への講習など、地域活動を支える方へのサポートや情報提供等を行っています。 南区としても、地域のつながりやネットワークを推進していくために、地域活動を支える方々への支援は重要と考えていますので、今回のご意見を参考に文言を修正します。

子どもがすこやかに育つまち（9 件）

意見	南区の考え方
●少子化が特に進んでいる南区なのに、施策等の内容が薄い。もっと厚みを増してやる気を見せてほしい。他区に比べて、南区の魅力が低いの	ひまわりビジョン 2028 (案) に掲げているとおり、南区が魅力あるまちになるためには、災害対策や高齢者支援等はもちろん、子育て支援

は子育て支援施策が足りていないからだと感じる。これからの世代に住みたいと思ってもらえる区にしていかなければならない。 ●南区は、高齢者向けの事業ばかりやっているというイメージを持たれているので、もっと子育て支援に手厚い区にしてもらわなければ、子育て世帯からのイメージが悪いままである。長久手市や豊田市の取り組みなどを参考にして、区への転入を増やすためにもぜひ力を入れてほしい。	も重要な施策の一つだと認識しています。 今後も「子どもがすこやかに育つまち」の実現に向け、他都市の取り組み等も参考にしながら、地域や子育て支援機関等と連携・協力し、子育て支援施策の充実に取り組んでいきます。
●「乳幼児等の割合が増加」ということは、これからの世代の子ども達なので、特に手厚く施策を行うべき。また、区内の乳幼児・児童と保護者が安心して過ごせる施設・場所が少ないと感じる。また、既存施設も古く、使い勝手が悪いと感じたことも多々ある。	地域で安心して子育てができるよう、電話や訪問等の相談窓口の充実、制度・サービスの提供を図ることで、妊娠から出産期、育児期において切れ目のない支援の継続に努めます。 また、地域の子育て支援機関等と連携し、相談しやすい環境や地域で安心して過ごせる場所が増えるよう取り組んでいきます。
●区内には大きな公園が点在しているし、小さな広場もあるが全体的に管理が行き届いていないので、子どもたちが安心して利用できるように整備するべき。	公園につきましては、皆さまに安心・安全にご利用いただけるよう、適切な維持管理に努めていきます。
●「子育てを支援する地域ネットワークの強化」とあるが、区内全域がカバーされていないのではないかと。少なくとも私の住んでいる大磯学区では、あまりそういった活動は聞こえてこない。	南区内には、子どもとその保護者の方がいつでも気軽に集い交流できる場として、子育て支援拠点等が全中学校区に設置されているほか、大磯学区含め全学区で地域子育てサロンが開催されるなど、区内全域で子育て支援に取り組んでいます。 今後も引き続き、地域や子育て支援機関と連携・協力して、子育て支援に取り組んでいきます。
●青少年育成の施策の内容が他と比較して薄い。子どもへの支援はもっと手厚くすべきだし、成果指標の数値が他と比較しても低いので、やる気が感じられない。60%以上を目指すべきではないか。	青少年がすこやかに育つ取り組みの一環として、地域及び関係機関と連携し、見守り活動などを実施しています。 また、青少年の心身両面の健康づくりを目的とした正しい知識の普及や青少年に関する相談窓口の周知・啓発を引き続き行っています。

	目標設定については、類似する成果指標や過去の実績推移などを参考に設定していますが、ご意見を踏まえて事業を推進していきます。
●子どもたちが学ぶ場、体験機会をもっと創出すべき。企業が多いのだから、連携して、子ども達に企業の技術を実際に体験してもらって学んでもらうとか、名古屋市科学館と連携した学習事業とか工夫を凝らしてほしい。	ものづくりの楽しさを知り、ものづくりに興味・関心をもってもらうことを目的に「こども職人工房」という事業を毎年実施しています。 また、「ものづくりが盛んなまち」南区として、区民まつりの機会を捉え企業の協力のもと体験事業を実施していますが、教育機関や企業等と一層の連携を図り、子ども達が学び体験する場の創出を行っていきます。
●区内に多い外国人家庭との交流とも重ねて、子ども達の英会話力の上達をさせる交流機会づくりというものもできるのではないかな。	ご提案ありがとうございます。頂いたご意見は、今後の事業展開の参考にします。
●読書習慣をつけてもらうための施策も行ったらどうか。南図書館を綺麗にして、子どもたちの居場所とするとか。また、「かさでら図書館」という私設図書館もあるので、そういったところへの支援事業や連携を行ったらどうか。	引き続き、乳幼児・小学生を対象とした「おはなし会」等の事業を開催し、幼い頃から本に親しみを持っていただくよう努めていきます。 他機関との連携・支援事業につきましては、可能な方法により、連携・支援を行っていきます。

こころうるおい個性輝くまち（4件）

意見	南区の考え方
●スポーツを通じたまちの魅力向上とあるが、「eスポーツ」の視点が入っていないのではないかな。	eスポーツはこれから重要度が増していくスポーツと認識しており、区民まつりの企画としても採用しています。
●スポーツはあくまで手段であり、スポーツを通じて何がしたいのか、どうなってほしいのかという目的が明瞭でない。	アジア・アジアパラ競技大会の機運醸成では活力に満ちたまちの実現を、南区で活躍するアスリートとの連携では活気あるまちの実現を、生涯スポーツの推進では生涯にわたって健康でいきいきと過ごすための心身を育むことを、それぞれ目的としています。
●町内会加入率の低下について、若い世代の担い手が不足とあるが、若い世代が加入することのメリットは何か明瞭でない。若い世代にとっても何がよいことであるのか、メリットである	町内会は、だれもが安心・安全で快適に暮らせる地域づくりを行うための一番身近な組織であり、とりわけ災害時の助け合いに不可欠なものと認識しています。年代等問わず加入して

のかを打ち出していないと課題解決はできない。	いただけるようご案内していきます。
●町内会が機能しなくなっている中、ボランティアや NPO の活動支援をもっと重視すべき。金銭的な支援や物資の提供、場所・拠点の提供をすべき。特に、子育て支援の活動をしている団体に向けては手厚くして、区の活性化に貢献してもらってほしい。	地域を活性化する上で、町内会のほか、ボランティアや NPO の役割も重要であると認識しています。地域団体の活動を広く区民の皆さまに周知するなど、区全体の地域活動の輪が広がるよう取り組んでいます。 また、社会福祉協議会では、区内で活動するボランティア団体で組織するボランティア連絡協議会への助成や活動支援などを行っています。

地域交流・区政運営の取り組み（3 件）

意見	南区の考え方
●庁舎の環境改善はすぐにでもしていくべき。特に、子育て支援の観点で。区役所が「赤ちゃんの駅」と掲示されているが、トイレは古く汚いし、ベビーベッドも汚い。おむつ替えや授乳室もイオンなどの施設を参考にして設置してほしい。 ●区役所内のトイレは、新調して新しく衛生的なものにしたらどうか。	トイレ・授乳室については毎日清掃を行っていますが、ご意見を参考に今後も庁舎の環境改善に努め、快適な庁舎環境づくりを進めていきます。
●保健センターが区役所から離れた場所にあるのも子育て世帯に良くないのではないかと。しかも保健センターに入ったことがあるが、暗く古いため廃墟のような印象を受ける。子育て支援に力が入っていないと感じられる。	現状、区役所と保健センターの庁舎が別の場所にあり、ご不便をおかけしています。南保健センターの庁舎は昭和 62 年の竣工ですが、照明の LED 化をはじめ、庁舎の環境整備に努め、区民の皆さまに快適にご利用いただけるよう取り組んでいます。 また、子育て世帯への支援には、職員一丸となって積極的に取り組んでいきますので、ご理解いただければと存じます。